

第2回「演劇表現ワークショップ」開催！

【令和7年12月2・3日】

12月2日(火)・3日(水)、第2回「演劇表現ワークショップ」を開催しました。演劇的手法を取り入れたこのワークショップには、劇団文学座の演出家・西川信廣氏と俳優陣、地域スタッフの方々を講師としてお迎えし、1年生5クラスがそれぞれ2時間ずつ参加しました。演劇では、演じる側も観る側も一緒に参加することが大切であり、「自分がいかにして楽しむか」が



重要であることを学びました。普段の生活でも、相手にしっかり伝えること、伝えられたことを受け取ることの大切さを「シェルゲーム」や「椅子取りゲーム」で体験しました。さらに、「たこ八ゲーム」や「大きなちょうちん・小さなちょうちん」では、間違いは演劇において良い緊張感を生むため、「中途半端より思い切って間違えた方がよい」というアドバイスを受け、「失敗を恐れないことで新たな発見につながる」ことを学びました。また、まわりとの関係性の中で調子が悪くなったとき、反応力を回復するためには、「何もしないよりも、相談したり行動したりすることが、本当の意味でのコミュニケーションにつながる」ことも学びました。第3回は12月9・10日を予定しています。



も、相談したり行動したりすることが、本当の意味でのコミュニケーションにつながる」ことも学びました。第3回は12月9・10日を予定しています。